

令和6年度 第1回 学校運営協議会

1 学校経営方針・ランドデザインについて

- ・学校要覧をもとに本校のランドデザイン等を説明した。

2 学校評価について

(1) 昨年度の取組に関する学校関係者の評価について説明した。

- ・委員から各学部の取組を見る中で、子ども達の力が地域の方々と関わることで育てていることを実感しているという意見が出た。

(2) 今年度の学級経営等について

- ・「コミュニケーション～『わかる・伝える』コミュニケーション力の育成、コミュニケーションの活性化～」の重点テーマに基づき、コミュニケーションを軸にしながら、学校内外との関わりの中でも育てていく。

- ・総務部から今年度の広報の進め方について説明した。

⇒理解啓発のための積極的な情報発信についても重きを置く。

3 授業参観・Okiraku カフェの見学・体験

4 通称について

- ・「学校運営協議会」の名称は公式名称だが、それとは別に、もっと呼びやすい通称を設定した方が教員、保護者、地域の方にも分かりやすく、浸透しやすくなることから通称について協議した。

⇒「**コミスクおきよう**」に決定

5 広報全体計画における、意見交換

- ・各学部での取り組みを全体計画に位置付けて行う予定である。

6 委員からの意見

(1) A 委員

OSNSと実際の児童生徒の姿について

- ・SNSの表現の仕方について、「活動の様子だけではなく、その結果や成果物なども載せるとよいのでは」

- ・まだまだ世間の偏見的なものがある中で・・・

⇒発信できていない魅力がたくさんある。

⇒地域の方々の理解・コラボの入り口として発信していく。

(2) B 委員

- ・「隠岐なかよし大運動会」の広報はどうしているのか
- ⇒(回答) 町内放送やポスター掲示などで広報活動をしている。
- ・自分は養護学校に初めて関わったのが高校時代のボランティアだった。隠岐高校や隠岐水産高校との関わりも増やしていけたらよいと思う。
- ・学校からだけでなく、連携した相手側からの SNS 等での発信があればよいのではないか。

(3) C 委員

- ・SNS継続性の担保、仕組みづくりが必要だと思う。
- ・地域の人に普段見えないところを発信することは大事
- ・SNSとアナログ(隠岐汽船待合室の常設展示など)の両輪の情報発信によって幅広い年齢層に対応できる。

(4) D 委員

- ・広報計画について、SNS などの情報発信のほかに、Okiraku カフェなどの直接的な関わりも大事だと思う。
- ⇒養護学校のことが「わからない」という意見も多いため、

(5) E 委員

- ・学校フェンス沿いのカフェ宣伝横断幕にOkirakuカフェの時間帯の掲載(日にちだけではなく)をしてほしい。

(6) F 委員

- ・通う子どもも、取り残されていないと実感できる学校にしていく必要がある。
- ・地理条件を活かした取組が有効だと思う。
- ⇒サンテラスの近く、町の中心地という便利な立地条件